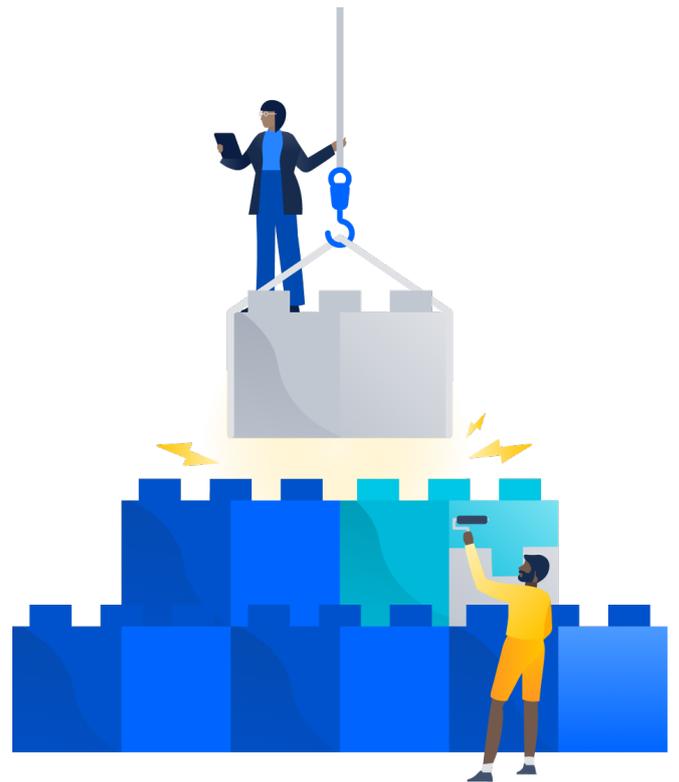


Jira Service Management

手順書

準備編



Step 01	Jira Service Management Freeプランへのサインアップ	02 – 03
Step 02	プロジェクトの作成	04
Step 03	設定言語の変更	05

Jira Service Management Freeプランへのサインアップ

準備するもの

利用可能なメールアドレス

※ Atlassian Cloud利用規約により、ユーザーは16歳以上である必要があります。

1 無料のクラウドソフトウェアプランへアクセスします。

ページが日本語で表示されない場合、ページ左下にある [Languages ▼] をクリックし、"日本語" を選択してください。

2 Jira Service Management の [開始する] ボタンをクリックします。



3 どちらかを選択します。

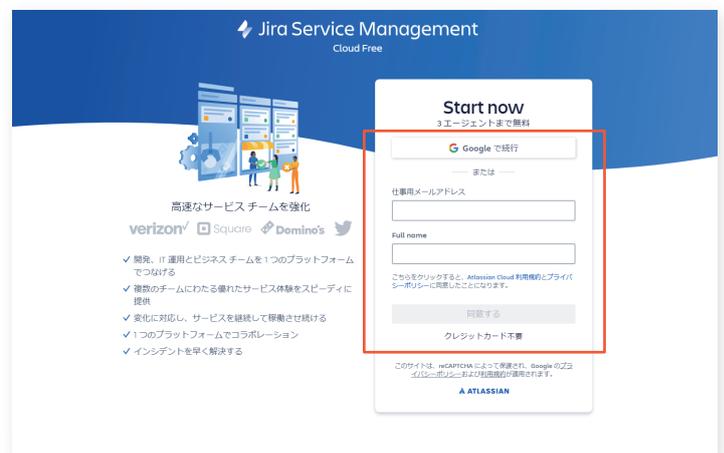
● メールアドレスでサインアップ

仕事用メールアドレス: アカウントに登録するメールアドレス

Full name: アカウント名として登録する氏名を入力して、
[同意する] をクリックしてください。

● お持ちのGoogleアカウントで認証

[Google で続行] ボタンから、Googleアカウントの
ログイン画面に進んでください。



4 Eメールアドレスを確認するメールが届きます。

● メール内の青い [Verify your email] ボタンをクリックします。

● 表示された画面でAtlassianアカウントのパスワードを設定し、 [サインアップ] をクリックします。

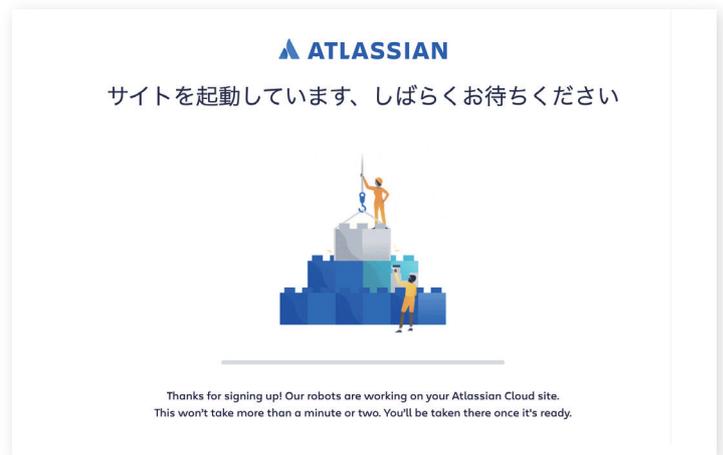


5 右の画面で、[ご利用のサイト名]欄にこれから利用するサイトの名前を決めて入力し、[同意する]をクリックします。

- サイト名は、小文字の英数字で3文字以上にする必要があります。
- 先頭と末尾を除き、ハイフンも使用できます。
- 既に存在するサイトと同じ名前は利用できません。ユニークでわかりやすい名前を設定してください。



6 いくつか質問が表示されますが「質問をスキップ」をクリックして先へ進めると、右の画面が表示されます。



7 「Jira Service Management によるこそ」の画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。



8 「チームに適したテンプレートのタイプを選択する」の画面で[一般サービス プロジェクト]を選択します。



Step

2

プロジェクトの作成

1 「プロジェクトを作成」の画面でプロジェクトの情報を
入力して「プロジェクトを作成」ボタンをクリックします。

- 名前: 社内ITヘルプデスク
- キー: ITHELP

プロジェクトを作成

名前
社内ITヘルプデスク

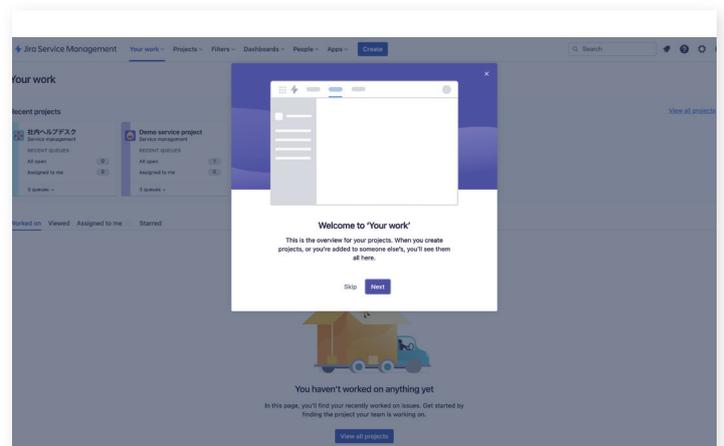
キー
ITHELP

設定を既存のプロジェクトと共有

テンプレート
一般サービスプロジェクト
Manage all your service requests in one location.
テンプレートを変更

作成 閉じる

2 1で作成したプロジェクトとデモプロジェクトが
含まれる Jira Service Management が
準備できました。



設定言語の変更

1 Jiraの言語を日本語に変更します。

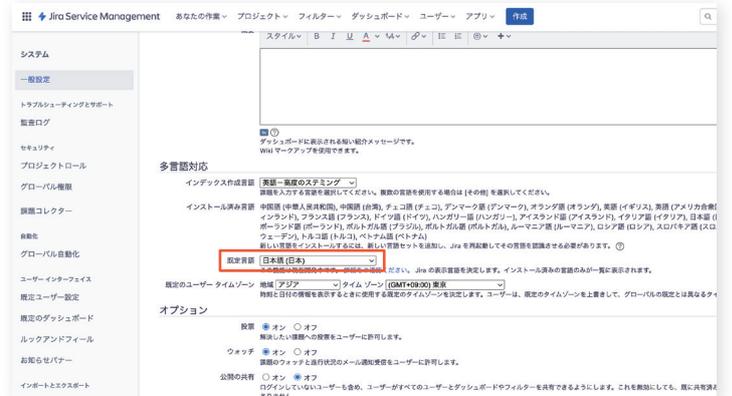
- ユーザーアイコンの隣の歯車アイコンをクリックし、表示されるメニューから[システム]を選択



- 「一般設定」の画面で、右上の[設定の編集]をクリック



- 画面中ほどの「多言語対応」の下にある「既定言語」を[日本語(日本)]に変更し、一番下の[更新]ボタンをクリックして保存



これで環境を日本語に設定できました。

Jira Service Managementを利用するための準備は完了です！

次の「サービスデスクのセットアップ編」では、お問い合わせを受け付けるために、

Jira Service Managementでプロジェクトを設定する手順を詳しくご紹介します。

引き続き、Jira Service Managementをお試しください。